

NPO法人 あっとわん

ママのこころと笑顔の応援団



第141号
通信

あっとわんは子育て支援の団体です。親と子のエンパワメントを応援しています。 2015年8月28日発行 46,370部

子どもが伸びる 関わりことば

「関わりことば」は子どもに、人や物とどう向き合い、関わりを持っていけば良いのかを学ばせてくれます。と同時に、私たち大人が子どもと接するとき子どもとどう関わっていけばよいのかを教えてくれることばでもあります。何気なく使っていることばも、少し噛み砕いて知ることにより、子育てにもっと生かせることがあるように思います。いくつかを紹介したいと思います。

参考図書:『子どもが伸びる 関わりことば26』 湯汲英史著 すずき出版 2007年

そっと

行動をコントロールする力を高めることば

物を乱暴に扱っている場面で、このことばを使うことを教えていきます。このことばがわかってくると、静かに物を扱えるようになります。これは、自分で自分の動きをコントロールする力が高まったともいえます。また、このことばは、単に物の扱いだけでなく、まじりません。人との付き合いでも、とても大切なことを教えてくれます。おおむね1歳前後になると、「そっと」がわかり始めるようです。



★同じような役割を持つ「関わりことば」ゆっくり、ふわっと、やわしく、静かに

いっしょに

人への関心を持たせ、社会性を育てることば

2歳前後から煩雑に聞かれるようになります。「いっしょにすわる」「いっしょにネンネ」「いっしょに食べよ」といった表現で使われます。人を特別に意識し始める時期であり、一緒の方が楽しいという気持ちが込められています。

「いっしょに」と言いながら、真似することも増えていき、「いっしょに」を通じて、人とのかわり方、自分のふるまい方を学んでいると言えます。



大事、大切

人や物への理解を深めることば

お友達は「大事、大切な存在」という認識を持つことはなかなか難しいようです。乱暴な子どもにどうして叩いたりするのか？と尋ねると、「たたかれると痛いからダメ」「痛いのはかわいそうだから」と言える子もいますが、だからと言ってもう絶対にやらないという事はありません。再度理由を尋ねると「ぼくはいたくなかった」とか「かわいそうでなかったから」と、自分勝手な理由を言う子もいます。そこには、大人が、相手への配慮や道徳を軸にして叱ったりすることにより、本人自身の納得した理由ではないからだと言えます。もっと根本的なことである、お友達は「大事、大切な存在」ということです。



★同じような役割を持つ「関わりことば」ひとつしかない、壊さない

残念、仕方がない

気持ちをコントロールする力を付けることば

怒りや、悲しみのコントローラー役を果たすことばと言えます。子どもが大切にしていたものを壊したときには、注意や叱責はひとまずおきます。そして、「残念、仕方がない」と話しながら、子どもが自分で気持ちを静められるようにしたいものです。「残念」ということばは、喪失の悲しみを乗り越えていく、そのきっかけを与えてくれるのではないかと思います。また、「仕方がない」は、人生の無常を教えてくれます。子どもは、これらのことばを聞きながら、あきらめることを覚えます。あきらめなければならないことがあることを体得します。そのことで、つらいことに耐える力もついてくるのでしょう。子どもを、ひと回りも、ふた回りも大きくしてくれることばと言えます。「残念、仕方がない」は気持ちの切り替えをスムーズにしてくれる「切りかえことば」でもあります。「切りかえことば」を学んでいない子は、自分の気持ちにいつまでも振り回されてしまう可能性があります。



あっとわん春秋

「自分の意見が言いたいけれど言えない」と思っている人は多いと思います。これは、意外と思いが込みだだけだったりするのですが、本人はいたって深刻です。では、「今まで自分の意見を言った経験場面はどんなところでしたか？」というところ意外にもマイナスの経験しか思い出せなかったり、記憶に残っていないという事も多いはず。自分の意見を言うって、良かったなあと思う機会がほとんど持っていない人が多いのが現状のようないな気がしています。自分の意見を言ったことでの成功体験が少ないんですね。▼でもこれからの時代、特に子どもたちが大人になり自立していく未来の世界では、自分の意見を伝える事ができる人材になって欲しいと思っていまいませんか？そのためは、生活の中で「子どもが意見を言い、それを受け止めてもらう」練習が必要になります。ということば、大人が自分の意見や軸を持っていないと、子どもの意見をどう受け止めるのか？を日々やっていくこととなります。否定ばかりでもダメだし、むやみやたらに同意するのも良いとは言えません。この軸を作り、コミュニケーションを円滑にしていくスキルが必要になっていると思っています。

かわのゆみこ